

【第14号】中国株有料メルマガです。

中国・香港H株市場の強い相場が続いていますね。

九洲発展、チャイナレアアースは、ガマンの時期です。ガマンに比例して儲けも比例します。チャイナレアアースを1.2香港ドル台でナンピン買いをできた人は、購入株価を下げる事ができたと思います。

中国アルミの売買停止は、中国アルミ傘下のA株上場企業である山東アルミ、蘭州アルミの2社が11月28日、非流通株改革にからむ資産再編計画を発表したことにより、11月28日—12月1日まで株式取引を停止すると発表しました。中国アルミは、山東アルミの株式71.43%、蘭州アルミの株式28%を保有しています。

山東アルミの改革案によると、非流通株主の中国アルミがA株流通株主に改革の対価として、10株当たり2.5株の株式を交付予定。この改革案により、中国アルミは、4800万株を交付し、持ち株比率が71.43%から64.29%に低下する見通しとなっていた。

中国アルミは、山東アルミ、蘭州アルミを吸収合併する形で、A株市場への「裏口上場」を計画しているらしい。過去、中国企業で上場している会社を未上場会社を買収し、社名を変更して裏口上場をしたケースもあります。推量の部分もありますが、悪いニュースではありません。企業の重要な発表があるときは、売買を停止することは普通の出来事です。

毎年、年末以降の中国株市場では、強い相場が続いています。今年も年末にかけて強い相場が続くそうなので、保有株を売らずに保有し続けるほうが良いと考えています。当然、私も保有します。まだ投資資金が残っている人は、新たな銘柄に投資するほうが良いと考えています。ボーナスを新たな銘柄に投資することを考えている人もいらっしゃると思います。

2006年1—10月までの中国・香港H株のIPO資金調達額が世界第1位になりました。12月以降も上場を控えている企業がたくさんあります。そこで、既存の比較的割安銘柄に投資することもいいのですが、12月8日に上場する気になる銘柄があるので、その銘柄の紹介をしたいと思います。

その企業は、招金鉱業(1818)です。

## 『会社の概要』

この会社の事業内容は、金鉱山、金精錬分野で紫金鉱業(2899)に次ぐ第2位の会社です。山東省を拠点に5つの金鉱山を保有しています。山東省の招遠地区には、豊富な金資源が埋蔵されています。招金鉱業は、この招遠地区の金鉱山を独占して

おり、今後の成長性も期待できると思います。

同業他社と比較すると、

紫金鉱業(2899) 株価	5.48香港ドル	PER	84.86倍
霊宝黄金(3330) 株価	8.26香港ドル	PER	26.82倍

招金鉱業の初日の応募倍率は、500倍と非常に人気が出ています。公開価格レンジは、9.8~12.68香港ドルで、公募価格は、上限の12.68香港ドルになる可能性が高いでしょう。上場予定日は、12月8日になります。

今回の調達資金(28.1億香港ドル)の使い道として、

1. 金鉱山の買収
2. 金鉱山拡張の強化
3. 冶金技術の向上・改善
4. 探索業務の拡充
5. 銀行の負債の返済

今回の招金鉱業の上場に関して、スタンダード銀行、グローバル・インベストメント・ハウス(クウェート)、鷹君集団(香港)、星島集団(シンガポール)など大手機関投資家が出資することから、機関投資家より情報が入りにくい個人投資家の私たちも安心できる材料の1つになると思います。

現在、金の先物相場が調整局面を迎え、600アメリカドル/オンスまで下落しましたが、12月2日、627アメリカドル/オンスまで上昇しました。当然、金価格の上昇は、招金鉱業にとって追い風になります。金価格の上昇により、利益の増加が期待できるからです。

中国アルミ、江西銅業、紫金鉱業、霊宝黄金、中国石油天然気すべての2006年上期の好決算は、商品価格の上昇により利益が大幅に上がりました。勿論、生産量の増加、経費削減、企業買収の効果なども含まれています。これら全体の効果もありますが、資源株は、商品価格変動に株価が大きく左右されます。

なぜ、招金鉱業が気になるのかをお話しますね。2003年12月に上場した紫金鉱業を上場してから購入した場合、約3年間で5倍の株価上昇をしています。それに対して、霊宝黄金は、2006年1月に上場して約1年間で、1.7倍になっています。

紫金鉱業は、金鉱山を保有しているので、金価格の上昇は紫金鉱業にとって利益が増加するため、株価が上昇する傾向にあります。それに対して、霊宝黄金は金精錬事業中心のため、紫金鉱業よりか利益を上げにくい体質になっています。それでも1年間で1.7倍のパフォーマンスを出しています。PERで見ると、2社とも割高感はあるのですが、金価格の上昇時には、株価も大きく上昇することを考えると、他の商品と違う金特有の魅力が市場心理に働き、株価を押し上げられると思われます。

先日、RICIファンドの話もしましたが、商品相場が調整局面時期なので、公募価格より

若干の上昇で購入するにはいいのですが、現在、絶好調の香港H株相場では、公募価格の30%ぐらいの初値が予想されます。その場合、購入時期を2回に分割して購入してみることもよいかもかもしれません。2回目は、もし、金価格の調整が起こり、金価格の下落とともに株価が下落したときに押し目買いをする2段構え作戦がベターな方法だと考えています。

紫金鉱業、霊宝黄金の過去の株価の推移、金相場の上昇を考慮すれば、今、投資資金が残っている、或いは、これから中国株購入を考えている人は、12月8日上場する招金鉱業(1818)を自分のポートフォリオに入れてもいいと考えています。

#### 紫金鉱業の週足チャート

<http://stock.searchina.ne.jp/data/chart.cgi?span=90&asi=1&code=2899&market>

#### 霊宝黄金のチャート

<http://stock.searchina.ne.jp/data/chart.cgi?span=90&asi=1&code=3330&market>

		【10月23日】	【12月1日】
【上海B株】			
上海振華港口機械(900947)		0.93	1.231アメリカドル
【香港H株】			
広州富力地産 (2777)	11.86	15.78	香港ドル
中国アルミ (2600)	5.41	6.25	香港ドル
ハルビンパワー (1133)	6.65	7.57	香港ドル
九洲発展 (0908)	0.80	0.68	香港ドル
チャイナレアアース (0769)	1.50	1.35	香港ドル

<http://www.chinakabu.com>

#### 【お願い】

ご質問への対応を有料メルマガのお客様を優先したいので、下記のメールアドレスでお願い致します。

#### 『中国株を新たに始める人のお勧め中国株証券会社』

松井証券(香港H株用)

内藤証券(上海B株、深センB株用)

大和証券(中国株IPO用、コンサルティングコースで口座開設してください)

<http://www.chinakabu.com/hikaku.html>

---

「中国株でお金儲ける実践会」

発行責任者： 三木 健博

発行者サイト <http://www.chinakabu.com>

メールアドレス info@chinakabu.net

---

**【ご注意点】**

今回の有料会員情報の内容は、私が考えている中国株投資の推奨銘柄、売買タイミングなど、有益な情報を配信していく内容になります。

本ホームページ及びメルマガに掲載されている内容等は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。したがって、勧誘の目的としたものではありません。投資に関する最終判断は、お客様御自身の責任でお願い申し上げます。メルマガ及びホームページ情報を使用し発生したいかなる損害（被害）及び民事、刑事的問題については、当社は一切の責任を免れます。

---